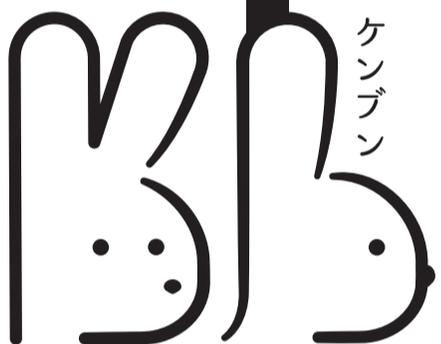


KENBUN

新しいケンブン

JOURNAL

ケンブン



New Culture, New Experience

愛媛県県民文化会館

LIVE

THE YELLOW MONKEY TOUR 2024/25

～Sparkleの惑星X～ 2024.10.20 Sun

COVER



KENBUN JOURNAL

New Culture, New Experience

vol.002

2024



Prologue

こんにちは。愛媛県県民文化会館、略してケンブンによるケンブンジャーナルです！2号目も生まれ
たよー。表紙は「イエモン」ほかに、落語家 桂吉弥さんのインタビューやらなんやらで、前号に引き
継ぎ、早めに持ち帰らないと無くなりますよー。チェックラッ!

Issue

えひめ文化振興コンソーシアム

〒790-0843 愛媛県松山市道後町2丁目5-1 TEL.089-923-5111
<https://www.kenbun.jp/>

TAKE FREE

ARTIST

INTERVIEW

「お客さんと

作り込む落語は

ホンマに面白い」

桂吉弥

(1)

EHIME CULTURE

広報・たぬ子の

ゆかりアーティスト

interview

KENBUN COLUMN

ケンブンケンガク

エヒメ文化を語る

ケンブン人のお仕事

県文と私

ケンブン周辺見学



アーティストインタビュー

FEATURE

お客さんと作り込む落語は
ホンマに面白い

桂吉弥

PROFILE

1971年2月25日生まれ、大阪府出身。1994年故桂吉朝に入門。同年「吉朝学習塾」にて初舞台、NHK朝の連続テレビ小説「ちりとてちん」(2007年)、「おちょやん」(2020年)、2008～2022年3月NHK「バラエティー生活笑百科」出演。2015年「文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞」受賞。

Q.1

—— 30周年を迎えて、独演会を開催中。愛媛公演への意気込みを教えてください。

1994年11月が初高座なんです。だからちょうど10月で丸々30年になります。今回一部の公演でお客さんからのリクエストにお応えしているのですが、お客さんが聞きたいと思ってるものが想像と違って、新たな発見でした。僕の師匠・桂吉朝が愛したネタ、桂米朝師匠の十八番のような古典落語のネタをお客さんが選んでくれて。それを吉弥がどう味付けするかを期待してくれてはるんですね。そんな発見を踏まえて愛媛公演がどんな内容になるのか、僕自身もお客さんも楽しみな会になると思います。

Q.2

—— 独演会に初めて来られる方に向けて、楽しむためのポイントを教えてください。

よく聞かれるんです。予備知識は必要かと。でも全くそういう前準備なしで、それこそよく睡眠をとって、よくご飯を食べてから来ていただきたいと思っています。僕らはネタに入る前に「枕」と言って、自己紹介や小噺をしてお客さんを少しほぐしたり、仲良くなったりするんですね。ネタに出てくる古い言葉や道具などの説明もして、想像しやすくしてあげる。お客さんに「面白い」と感じてもらえるように引っ張っていきます。前座に僕の弟子・桂弥彦くんが出て、二ツ目さんに松山市出身の入船亭遊京さん、それからゲストに柳家三三さん。みんなで一つの寄席を作り上げますので、お元気な体で来ていただきたいなと思います。

Q.3

—— 噺家として心がけていることは？

やっぱり一番大切にしているのは、その日、そのとき会場にお集まりのお客さんとは「一期一会」だと思って、自分の落語を丁寧に、新鮮な気持ちでやることです。どうしても何回もやっていると、慣れとか、なぞっちゃうところが出てくるんです。でも、お客さんにとっては一生に一度だけかもしれない。そんな気持ちを忘れずに臨むようにしています。一人舞台ですので、ハプニングもあります。携帯電話が鳴ったり、外の雨の音が会

場にまで響いてきたり。そういうのも含めて、お客さんと一緒に作り込む落語はホンマに面白い。一緒に楽しみましょうという気持ちです。

Q.4

—— 吉弥さんが目指す噺家とは？

「日々のことを忘れられた」「3時間楽しめた」と言ってもらえる落語をするのが目標です。今53歳ですが、50代が一番噺家として気力体力も充実し、喋りも乗ってきて、お客さんとの波長も合ってくると、よくみんなに言われるんです。その一番の頑張りどころで、まだまだ手がけてない米朝師匠のネタや、やったことのないネタをどんどんやっていきたいと思っています。

Q.5

—— 最後にメッセージをお願いします。

落語を初めて見る方にも、お子さまにも、人情噺を聞きたい人にも楽しんでもらえるネタをかけようと思っています。落語って聞いたことあるけど、行ったことないとか、あまり馴染みないなっていう方にもぜひ足を運びたいと思います。

INFORMATION



噺家生活三十周年 桂吉弥独演会
10月14日(月・祝)サブホール
13:30～(13:00開場)

全国30カ所を超える独演会ツアー。愛媛公演では、前座に桂弥彦、二ツ目に松山市出身の入船亭遊京、ゲストに柳家三三を迎える。桂米朝、吉朝の志を継ぐ吉弥の生の落語を楽しめる。

問/089-947-3535(DUKE松山)

料/全席指定4,000円
※売り切れの場合あり ※未就学児の入場は不可

ARTIST New Sprintさん

「思い出に寄り添う短歌集ロック」をテーマに、どこか懐かしさを感じる楽曲を展開。聴き心地の良い歌声と、エモーショナルで迫力のあるサウンドに注目。



@newsprintofficial8965 @new_sprint_ @New_Sprint_ https://newsprint.ryzm.jp/

EHIME CULTURE

伝統文化からサブカルチャーまで愛媛にゆかりのあるアーティストに広報のため子がインタビュー

思い出に寄り添う短歌集ロックを

たぬ子が
見るケン、
聞くブン!

ゆかりアーティスト
interview

vol.2

もっと読みたい方はコチラ



パステルカラーの淡い色合いでかわいいイラストを描く坂本彩さん。小学生の頃からイラストを描いていたが、イラストレーターを志したのは大学生になってから。それまでイラストレーターは憧れの存在であり、自分になれるとは思っていなかったそう。「全体で見るときも近くで見るときも楽しい!」と感じてもらえる書き込みを心がけており、「観た人が性別年齢関係なくそれぞれの思う好きな人」をイラストに当てはめてほしいとの想いから、彼女のイラストにははろくまがよく登場する。大人になり愛媛の良さに気づいたと言い、「瀬戸内の眺めが好きで、海を描くとするとすぐ島を浮かべたり、橋を渡したりしたくなるんです」と笑顔で話してくれた。

自分で自分が好きだと思ってるイラストを描こう!

ARTIST

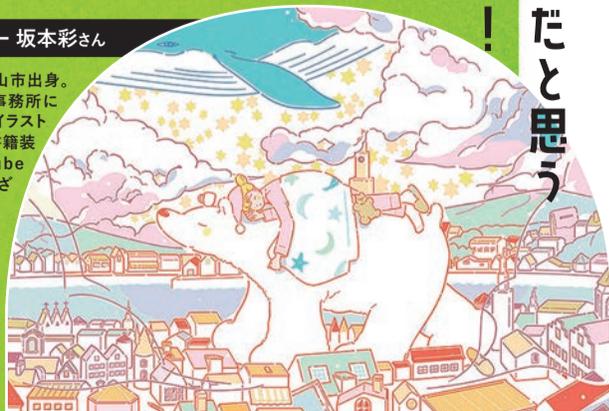
イラストレーター 坂本彩さん

1992年生まれ、松山市出身。上京してデザイン事務所に勤めた後、フリーのイラストレーターに。広告、書籍装画をはじめYouTubeのジャケット等、さまざまな媒体で活動中。

@tictactecc
@tictactec
https://www.aya-sakamoto.com/



愛媛の芸術・文化 広報 たぬ子



KENBUN KENGAKU

ケンブンのケンガク

知らない人も多い(かもしれない)けど、ケンブンは実は名建築。建物のトリビアから普段、見ることができない裏側まで紹介

THEME [ケンブンの緞帳は、めちゃくちゃカッコいい!]



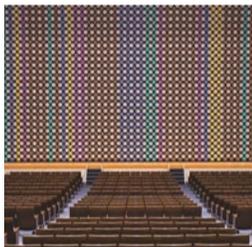
「波響く」東山魁夷

猪熊弦一郎が緞帳について、印象的な言葉を残している。「ステージは、建築の中の大切な顔であり、強かに活動するスペースである。言は、人体の中の心臓の部分である。その部を代表する様に緞帳が作られる。(中略)これからの永い未来の中で、益々強く、新しく動き、そして、明るく美しい発展へと躍進してほしい」

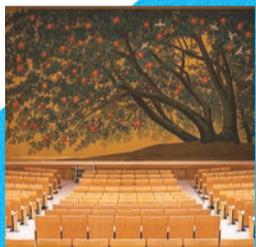


「時代は躍進する」猪熊弦一郎

緞帳とは、ホールの舞台と観客席を仕切る厚地の垂れ幕。名匠が描いた図案を卓越した織技術で再現していることが多く、ホールの顔ともいえる芸術品だ。ケンブンの緞帳ももちろん。メインホールで3種類、サブホールで2種類あり、いずれも日本を代表する巨匠たちが描いたもの。メインホールの第一緞帳『波響く』は日本画家・東山魁夷によるもので、作品について「波そのものだけを描いて、広々とした空間に波の動きと響きを表したのは、この雄大な会館の規模に相応しいと思ったから」と述べている。第二緞帳『時代は躍進する』は洋画家・猪熊弦一郎、第三緞帳『伝統と現代の波光』はグラフィックデザイナー・亀倉雄策。サブホールの第一緞帳『椿の園』は日本画家・平山郁夫、第二緞帳『石鎚山』は山の版画家・畦地梅太郎。観る者を文化・芸術の世界へと誘うにふさわしく、錚々たる顔ぶれ! 県民プラザにミニサイズの緞帳の絵が展示されているので、皆さんもぜひ全種類ご覧ください。



「伝統と現代の波光」亀倉雄策



「椿の園」平山郁夫



「石鎚山」畦地梅太郎

シアターねこは8月末をもって閉館します。と、公開した途端に全国の演劇仲間たちから問い合わせが殺到。最初のひと月はその対応に追われました。少し落ち着くと、松山だけでなく他県の劇団や演劇関係者がシアターねこで公演するよ! と劇場を予約。先日広島、北九州、宮崎の4劇団が大挙して合同公演「こぶくの小箱—ねこスペシャル」というねこ繋がり作品を引っ提げ、歌あり・楽器あり・芝居あり、最後には「猫を探す」という朗読まで、2時間15分もの快挙を成し遂げました。お客さんは泣いたり、笑ったりで、たっぷりねこを堪能していただきました。



シアターねこ 鈴木美恵子さん
シアターねこ代表、NPO法人シアターネットワークえひめ理事。松山に表現の場を提供し、松山の演劇に関わる場所をつくりたいと活動。



THE YELLOW MONKEYがケンブんに帰ってくる! 2016年、解散を経てからの再始動ツアー以来、約8年ぶりか。ホールのライブといえば多くのミュージシャンがコール&レスポンスを行うものだが、ケンブンは全国的にも珍しく5階まで客席があるので、面白いアーティストも多い。ステージから見た景色は宇宙船のようなって言うアーティストも。いつかは最上階に着席してみたいと思う。だって、コール&レスポンスの瞬間は、推しの視線がそのエリアにだけ向けられるのだから...って思ったことない?(笑)最上階のサイドの数席しかないせり出した場所がいいなあ。高所恐怖症だけど。



2曲目
蛇足話。音楽的。
宇宙船ケンブン号

エディター・ライター 渡邊麻子さん
愛媛在住20年目。年間のライブ参戦数は平均70本~90本程度。音楽的にはとにかく雑食なので、好きなジャンルを聞かれると困ります。



時には轍を辿ったり、描いたり。

その②【THEME: 大きいハコ、小さいハコ。】

県内屈指のコンサートホールとしても知られるケンブン。ここでコンサートスタッフのアルバイトをしたことがある。慣れないスーツ姿での誘導や、観客がステージに殺到しないよう最前列で制止したり……。あれから時は過ぎ、もういい歳になった某アイドルをTVで見かけると当時のことを思い出す。その昔、ロープウェー街にGETというロック喫茶があって、ライブも演れた。キング・クリムゾンの傑作「クリムゾン・キングの宮殿」のジャケ絵が描かれたドアを抜けると、そこはもうロックの魔窟。ぼくも同じ顔になっていたに違いありません。



本の轍 越智政尚さん

春日町にて小さな本屋「本の轍」を営む。暮らしとアートに特化した古書、新刊、雑貨などを取り扱う。イベントや展示も行い、文化の発信の場となっている。



ケンブンのお仕事

KENBUNJIN NO OSHIGOTO

ケンブンで働く人の現場に潜入!



演目が始まる前、司会を務めることもあります。さすがに緊張!



文化事業の企画・運営
宮本昌義さん

ケンブン人となって約30年、施設管理、財団主催文化事業の企画立案からチケット販売まで“裏方”を務めてきた。大歌舞伎事業や小・中学校へ向くダンスワークショップ事業などを手掛けたことも。近年は事業計画、予算・決算、現場の意見の調整など、守備範囲はさらに広がっている。こういった“裏方”のチカラの積み重ねにより、最高の舞台が創られていく。

県文と私

KENBUN TO WATASHI

県文との思い出を語る

by 愛媛FC所属 森脇良太 選手

県文での忘れられない思い出は昨年、愛媛県社会福祉協議会主催の『令和5年度 福祉・介護関係事業所合同入職式』にゲストスピーカーとして呼んでいただき、新入職員さん約100名を前に講演をさせていただいたことです。どんな分野・業界であっても続けるうえで大事なことは、マイナスなことが起きてもプラスに変えていく“ポジティブなエネルギー”。そんな想いを僕のサッカー人生での経験を交えながらお話ししました! 参加していただいた皆さんに一つだけでも響くものがあたらうれしいと思います。

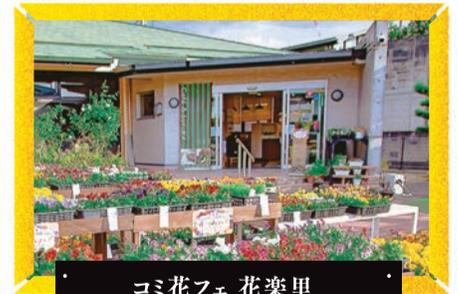


県文との思い出募集中

ケンブン周辺見学

KENBUN SURROUNDING TOUR

ケンブン近くの素敵な施設を紹介



コミ花フェ 花楽里

オリジナルスイーツとランチが楽しめるカフェ。障がい者就労支援を受けるスタッフが元気な声で迎えてくれる。ハーブ卵を使ったカスタードのシュークリームが一番人気で、食パンも売り切れ必至。愛媛県の特産品や季節の花苗も販売。

住/松山市道後町2-12-10
社会福祉法人
愛媛県社会福祉事業団
ほほえみ工房ばれっと道後内
電/089-908-9200
営/10:00~16:00
休/日曜、祝日(臨時休業あり)



KENBUN SCHEDULE

2024.8-10

メインホール
サブホール
真珠の間

※本文中のデータは2024年7月10日現在のものです。チケットが売り切れの場合があります。また予告なく変更になる場合がありますのでご了承ください。

ケンブン

PICKUP

愛媛県文化振興財団HPの専用フォームから先着受付中!

ファミリーコンサート 2024
おんがく de あそぼ

公演日	開演時間	チケット料金
8/10	10:30	大人1,500円 子ども500円
8/24	10:30	大人1,500円 子ども500円
8/25	10:30	大人1,500円 子ども500円
9/21	10:30	大人1,500円 子ども500円
10/5	10:30	大人1,500円 子ども500円
10/12	10:30	大人1,500円 子ども500円
11/9	10:30	大人1,500円 子ども500円
12/14	10:30	大人1,500円 子ども500円

7月8日10時24分
※7/5先着受付開始

大人1,500円
子ども500円
※小学生以下500円

申込先: 愛媛県文化振興財団
TEL: 089-927-4777
Eメール: asobo14@ecf.or.jp

真 ファミリーコンサート2024 おんがく de あそぼ 14

8月24日(土)
①10:30～(開場10:00)
②14:00～(開場13:00)
8月25日(日)
10:30～(開場10:00) ※午前の部のみ

0歳から入場できるファミリーコンサート。小さな子どもも『おんがく』を楽しめるようにと手遊びうたや子どもに人気の曲が中心で、松山公演では「パンダうさぎアキラ」や「アンパンマンのマーチ」「スイミー」などを演奏予定。

問/089-927-4777
(公益財団法人 愛媛県文化振興財団)
¥/子ども無料、19歳以上1,500円
※子どものみの入場は不可
※全席自由席

真 DUO RECITAL 角南有紀 ソプラノ×ALBERTO PIZZO ピアノ 10周年記念

～テノール歌手秋川雅史を迎えて～
8月3日(土)14:00～(開場13:30)

愛媛県出身のソプラノ歌手角南有紀と、イタリア出身のピアニストALBERTO PIZZO。世界で活躍する2人によるリサイタル。10周年を記念して、愛媛県出身の国民的テノール歌手秋川雅史氏を特別ゲストに迎える。

問/090-2891-5784 (Musica Neve)
¥/一般3,500円、高校生以下1,500円(当日はいずれも+500円)
※未就学児の入場は不可



真 振袖EXPO in 松山

8月17日(土)11:00～18:30(最終受付16:00)
18日(日)9:30～18:00(最終受付16:00)

中四国にフォスタジヲを展開するアケボノスタジオによる振袖展示会。新作着物やブランド着物を含む1,000点以上の振袖が勢ぞろい。すべての着物がプレミアムSALE価格でレンタル・購入でき、来館者限定特典もある。

問/087-884-1367 (アケボノスタジオ)
¥/入場無料



真 第37回愛媛県立伊予高等学校 芸術発表会 ILEX CONCERT

一能登半島地震復興支援チャリティー吹奏楽コンサート
9月15日(日)17:00～(開場16:15)



吹奏楽コンクール全国大会に通算27回出場している伊予高校吹奏楽部。部訓「雲外蒼天」のもと企画する「ILEX CONCERT」にて、能登半島地震復興への想いを込めて演奏する。

問/089-984-9311 (愛媛県立伊予高等学校吹奏楽部)
¥/入場無料

真 THE YELLOW MONKEY TOUR 2024/25

～Sparkleの惑星X～
10月20日(日)17:30～(開場16:30)



10枚目のアルバム『Sparkle X』を携えた待望のツアー。大都市を含む大規模なホールツアーとしては1998年以来、実に約26年ぶりの開催。新たなグルーブの扉が開く!

問/089-947-3535 (DUKE松山)
¥/指定席10,000円
※6歳以上有料、席が必要な場合は未就学児もチケットが必要

真 愛媛ジュニアオーケストラ 5周年コンサート

8月16日(金)13:30～(開場13:00)



松山・今治・新居浜で活動する、小学生から高校生までとその保護者で構成。指揮者に平川範幸、ゲストにトランペッターの田尻大喜を迎え、地域・年齢を越え、心をひとつに演奏。

問/0898-77-3663 (愛媛県青少年オーケストラ協会)
¥/入場無料

真 ピアノコンサート in Matsuyama

8月17日(土)16:00～(開場15:30)

関西屈指のアマチュアピアノソシエーション「ショパニスト関西」14名によるショパンほか、ピアノ名曲コンサート。特別ゲストピアニストは越智もとみ。

問/070-5661-7705 (ショパニストアーツ事務局)
¥/入場無料(自由席)
※未就学児の入場は不可



県文見聞録 vol.2



『オケピ』ってなんだ?



イラストレーター misato
松山市在住。クソツと笑えるキャラやイラストが得意。似顔絵グッズや企業キャラデザイン等も。



好評販売中! 伊予銀行 presents 大井剛史×角野隼斗×読売日本交響楽団

チケット完売が相次ぐ人気ピアニスト・角野隼斗と、幅広い分野でマルチな才能を発揮している実力派指揮者・大井剛史が共演! チケットは各種プレイガイドほか、ケンブン2階・第2事務室でも販売中(平日9時～17時)。

伊予銀行 presents 読売日本交響楽団 愛媛公演2024
【公演日】12月7日(土) 開演14:00@メインホール
問/089-927-4777 (公益財団法人 愛媛県文化振興財団)
¥/SS席8,000円、S席6,500円、A席5,500円
※席によってはすでに売り切れの場合あり ※未就学児の入場は不可



アンケートにご協力ください

よりよい紙面づくりを目指すため、右記の2次元コードから、本紙に対するご意見・ご感想をお寄せください。



チケット販売のお知らせ

LOOK FOR

RESTAURANT INFORMATION



配膳ロボットが注文したメニューを安全に席までお届け!

見た目も華やかな洋食メニューから、宇和島鯛めし、しらす丼などランチタイムは16種のプレートメニューが楽しめる。入り口の券売機で注文後、配膳ロボットが席までメニューを運んでくれるので利用もスムーズ。14時からはタルティヌやデザートプレートなどカフェメニューもおすすめ。

※営業日はケンブンHPまたはインスタ(@cafe_dining_tsunagu)でチェック



ケンブンジャーナル編集部 kenbun_journal@ecf.or.jp

【個人情報の取扱いについて】 個人情報は読者層の調査のために使用します。また、お寄せいただいたご意見は愛媛県民文化会館のホームページや刊行物などに匿名で掲載させていただくことがあります。ご本人の承諾のない限り、前述の目的以外に使用、第三者に提供することはありません。

KENBUN JOURNAL

New Culture, New Experience

2024 vol.002

企画・発行: えひめ文化振興コンソーシアム
〒790-0843 愛媛県松山市道後町2丁目5-1 TEL 089-923-5111
<https://www.kenbun.jp/>

ケンブンジャーナル編集部: 愛媛県県民文化会館内 企画・編集: 藤崎純子・河内春香・植松都香・河野英一郎(以上えひめ文化振興コンソーシアム)、松下亮介・和氣敬憲・高須美登里・池川ゆかり デザイン: 林真央・土居麻巴香(以上エス・ピー・シー) 印刷: セキ株式会社 2024年7月24日発行/※掲載データにつきましては、2024年7月10日現在のものです。情報の内容は変更される場合があります。本紙記事、写真等の無断複写、及び転載を禁じます。



Next Issue
2024年9月発行